

プロフェッショナル・ホワイトニングを始める前に

ホワイトニングを受けられるかどうかは、歯と歯茎の状態をチェックし、カウンセリングを行なった上で判断します。ホワイトニングの効果は人によって違いがあり、黄色や黄土色の歯は灰色がかかった茶色の歯よりも、早くホワイトニング効果が現れます。実際にホワイトニングを試みなければどこまで白く出来るかを確実に知ることは出来ません。

※虫歯治療、抗生物質や外傷などが原因で変色した歯は、ホワイトニング効果が予測できない場合があります。

又は、通常の一時間以上のホワイトニング処置が必要になる場合もあります。

■充填物のはずれや虫歯

歯の充填物が取れていたり、大きな虫歯などがある場合は、ブライトホワイトのホワイトニングを始める前に、治療を受ける必要があります。

■クラウン

ホワイトニングの際、充填物、ラミネートベニア、ポーセレン（陶材）のクラウンは、本来の歯と同じようには白くなりません。そのためホワイトニング後、笑った時に見える歯の色が違う場合があります。※ホワイトニングを始める前に、これらの治療を以前受けられた方は、予めスタッフにご相談下さい。

■歯と歯肉の痛み

ホワイトニングの処置中、歯の痛みを感じられる方もいます。もし歯が過敏症な方は、ホワイトニング前にブライトホワイト担当スタッフにお知らせ下さい。場合によっては（バファリンなどの）マイルドな鎮痛剤を前もって服用されることをお勧めします。もし、処置後に歯の痛みを感じる場合も、これらの鎮痛剤が通常効果的です。

※ブライトホワイトに使用するホワイトニング剤は原則アメリカ製のブライトホワイト用ホワイトニング剤を使用しておりますが、国内製品に変更することも可能です。

ホワイトニング完了に伴い予測されること

■歯茎や口内粘膜の炎症

ホワイトニング後、歯茎や口内粘膜の炎症が起こる場合もあります。プロフェッショナル・ホワイトニング独特の技術はこれらの症状を防ぐようになっていますが、もしこれらの炎症が起きた場合は、マイルドな鎮痛剤を服用されることをお勧めします。炎症は、平均して12～24時間で治まります。

■お手入れ

ホワイトニング完了後、最初の24～48時間内に、ホワイトニングにより失われた水分が歯質に復帰することで歯の色調に若干の「後戻り」が起こります。そのような場合は、夜、ホワイトニング用の歯磨き粉で歯を磨くと、新たな着色を防ぐことが出来ます。

■メンテナンス

ブライトホワイト完了後、何もしないと半年後位から徐々に色が戻り始め、2年位でほぼホワイトニング前の色に戻ります。これを防ぐため半年に1回のプロフェッショナルによる定期的なメンテナンスをお勧めします。（メンテナンスは通常1回約30分で終了します。）

※すべての注意書きを慎重に読み、スタッフの指示を注意深くお聞き下さい。質問などありましたらお尋ね下さい。また、ホワイトニング前のカウンセリング、ホワイトニングの際、渡された印刷物などに不明な点やご質問などありましたらお尋ね下さい。